

平成25年度



新紺屋小学校だより

甲府市立新紺屋小学校
校長室：近藤修一
〒400-0016
甲府市武田1-3-34
Tel:252-2578
<http://www.shinkonya-e.kofu-ymn.ed.jp/>

なでしこ賞受賞! 児童会本部



新紺屋小学校の伝統である、連合自治会、育成協、PTA、児童会で連携しながら取り組んだ「あいさつ通り」の取り組みや、日頃、学校内で行っているあいさつの取り組み(教室を回り、声かけを行う活動)などが認められ、児童会本部がなでしこ賞を受賞することができました。2月7日午後4時より、児童会長樋高立人君とお母さん、校長の3人で、授賞式に出席しました。樋高君も堂々とした態度で、賞状を受け取ることができました。これからも笑顔あふれる新紺屋の子どもでいられるようあいさつ運動を展開して欲しいと思います。

『大なわとび大会』



2月5日(水)に体育委員会主催の縦割り班(6班)による「大なわとび大会」が実施されました。これは体力づくりの取組として、業間の休み時間を使って3回にわたって、班ごとに上級生を中心に工夫をこらした取組が行われ、本番をむかえました。

縦割り班(白A班・白B班・白C班・赤A班・赤B班・赤C班)ごと、10分間という時間を有効に使って何回飛べるかを競いました。優勝は330回を飛んだ赤A班でした。

1年生から6年生までのグループであり、体力面・技術面・チームワークが勝敗を左右したと思います。全校児童が取り組むことができるすばらしい活動だったと思います。

音楽創作カクラベ

5・6年生が音楽の時間(10月)に取り組み、しあげた作品を大会に応募しました。その結果、以下の児童が入選しました。

県入選(5年生・坂本悠大君)

市入選(5年生・福田涼奈さん)

(5年生・丸山希さん)

(6年生・廣瀬麻衣さん)

(6年生・小田切遥香さん)です。

音楽担当の奥秋梓先生の指導の下に、自分のイメージした曲想を楽譜に表しました。



ヴァンフォーレ甲府 サッカー教室

1月31日、ヴァンフォーレ甲府の指導者2名が来て、1・2年生(2校時)3・4年生(3校時)5・6年生(4校時)に、全校児童を対象にサッカー教室を開いてくださいました。とても上手な指導に子どもたちもノリノリで授業を受けていました。ゲームをしながら、「自分で考えて、工夫する。」「困った友だちを助けることを考える。」という内容のものでした。さすがは新紺屋小の児童です。次から次へと要求に応えた行動をとることができました。

技術は勿論ですが、精神面でも、いろいろなことを学ぶことができたサッカー教室でした。



県特選作品の紹介



1年 桂 希綾

まんりきこうえんで、しばすべりをしました。スピードが出て、びっくりしました。そのときのことを絵にあらわしました。



2年 藤原 衣吹

自分の顔をかがみでよく見てかきました。ようふくは、今まできたことのない色で、こんどきてみたい色をつくりました。思ったより上手にしががってうれしいです。



3年 加藤 友希

ふたのブブが、虫や動物たちに、おごほうびに、スペシャルべんとうを作ってくれました。きれいな山のうえて、ふたりなかよくスペシャルべんとうを食べる様子をかきました。工夫したところは、おべんとうの中味をできるだけたくさんかいたことと、花ばたけを表すのにおりがみを使ったことです。

教育祭図画大会

4年 堀内 快



ぼくは、エルマーとりゅうという本の中から空を飛んでいる場面をそうそうして描きました。工夫したりがんばったことは、空と海を見わけるためにすこし色をかえたり海にうつたかげを緑っぽくしたことです。

5年 福田涼奈



クジャクの羽を大胆に表現しました。苦労したことは、なかなか色がうつらなかつたので頑張ってつけました。

6年 小田切遥香



6年間お世話になった校舎なので一生懸命描きました。校舎全体が見わたせるように、山や空が見わたせるよう描きました。色使いに気を付けて描きました。

それぞれ自分の思いを込めて、工夫しながら完成した力作です。児童一人一人が自分の思いを表現できるよう、また、表現することが楽しいと言えるように、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

※(次号には、県・市・校内の書き初め大会の結果を掲載する予定です)

